

あるべき姿を具体化(現状との差)→方策

(一部抜粋)

目指すべき具体的目標：路線便到着後、すぐに接岸できる（待機時間0分）

現状：令和3年3月21日 最大2時間3分待機が発生



方策 → 待機状況を確認

● 30分おきに待機場所を確認する→後に、定点観測に変更

→ 現場の状況を確認

● 役員が夜間現場確認する

● 台車の台数の過不足、適正人員の確認

→ 繁忙期、閑散期に合わせた出勤体制

● 昼勤、夜勤、路線、トレーラ、事務所他部署からの応援体制 etc…